

教育委員会臨時会議事録

会議名 教育委員会臨時会

開催日 令和5年7月27日（木）午後1時30分～午後4時32分

開催場所 総合教育研修センター

出席者 高須教育長、藤田教育長職務代理者、秋元委員、中澤委員、有山委員

事務局等出席者

若林教育監兼総合教育研修センター所長、下北教育監、古田教育指導課長、村瀬総合教育研修センター課長、高芝教育指導課係長、竹山教育政策総務課係長、岡本（教育政策総務課担当）

○高須教育長

それではただ今から、小学校教科書採択のための教育委員会臨時会を始めさせていただきます。

本日の署名人は、中澤委員にお願いいたします。

本日の案件は、議決事項が1件でございます。

まず、本日の配布資料について確認いたします。

事務局から説明をお願いいたします。

はい、古田課長。

○古田教育指導課長

本日の配付資料を確認させていただきます。

教育委員会臨時会の議案書、以上でございます。

○高須教育長

説明は終わりました。

それでは、議案書1ページ、議案第30号「令和6年度使用小学校教科用図書の採択について」を議題といたします。

はい、古田課長。

○古田教育指導課長

ただ今御上程いただきました、議案第30号、令和6年度使用小学校教科用図書の採択について、令和6年度使用小学校教科用図書の採択を行いたく、教育委員会の議決を求めるものでございます。

提案理由といたしまして、令和6年度使用小学校教科用図書の採択のためでございます。

以上でございます。

○高須教育長

それでは協議を行っていきたいと思います。

ただし、教科書は全てで13種目あり、種目の中には、見本本の発行者が多い種目もごございます。見本本の発行者が多い種目につきましては、前回の小学校教科書採択同様、3社程度に絞って、最終的に1社を採択したいと思いますが、いかがでしょうか。

○藤田教育長職務代理人

今、教育長がおっしゃったように、発行者が多い種目につきましては、3社程度に絞って、最終的に1社を採択する方法でよいと思います。

○秋元委員

私もそれでいいと思います。

○中澤委員

内容について、まだ不明な点は、その都度御質問させていただいてよろしいでしょうか。

○高須教育長

本日は、調査員の長でもある、校長先生にも来ていただいています。必要であれば、事務局や、調査員にも質問させていただいて結構です。

それでは、まず各種目3社程度に絞って協議を進め、最終的に本市の子供たちに一番適している教科書を採択してまいりたいと思います。

なお、協議に入る前に、教科書の発行者名を略称で統一させていただきます。東京書籍は東書、大日本図書は大日本、開隆堂出版は開隆堂、学校図書は学図、三省堂は三省堂、教育出版は教出、教育芸術社は教芸、光村図書出版は光村、帝国書院は帝国、大修館書店は大修館、新興出版社啓林館は啓林館、日本文教出版は日文、文教社は文教社、光文書院は光文、Gakkenは学研と呼称することとします。よろしく願いいたします。

それでは、はじめに、種目「国語」について、協議してまいりたいと思います。

現行は光村を使用しております。発行者は、3社です。各委員のみなさんより、御意見をお願いいたします。

はい、藤田教育長職務代理人。

○藤田教育長職務代理人

どの教科書会社も全学年を通して、意見を交流する活動や、情報発信を行う活動など、発達段階を考慮した内容になっており、系統立てて学習しやすいよう工夫されております。

東書では、「漢字を使おう」の単元、教出と光村では「漢字の広場」の単元において漢字や入門期の文字を含む語彙を低学年から高学年まで段階的に獲得できるように配慮されており、国語の基礎が育まれるよう各社工夫されています。

○秋元委員

発達段階を考慮するという点では、各社とも1年生の入門期に少しずつ言葉にふられるように工夫されており、各社ともに鉛筆の持ち方も例示されていました。

また、二次元コードが記載されていて、デジタルコンテンツでも動画で、持ち方が確認できるようになっており、子供たちが動画を見ながら学習できるのではないかと感じました。

○中澤委員

先ほど秋元委員からもありましたが、各社とも二次元コードから学習に関連する写真や動画などを見ることができるよう工夫されており、東書では二次元コードを一番多く設定し、子供たちのICTの活用を促すことを意識しているように感じました。

○有山委員

主体的な学びという観点からいうと、どの教科書会社も、各学年の巻頭で、一年間の学習の見通しを示し、子供達自身が確認しながら、主体的に学習していけるようになっているのが印象的でした。また、各単元で目標を示し、教材の後ろに、手引が書かれており、子供たちが、「何を学ぶのか」、「どのように学ぶのか」そして、「何ができるようになるのか」がとても意識しやすいと感じました。

○秋元委員

東書は、単元の最初に「見通す」の項目があり、単元最後に「取り組む」「ふり返る」と単元全体をつらぬく学習活動となっており、授業者がわかりやすい授業展開をしやすいように感じました。

○藤田教育長職務代理者

その点においては、光村でも、「問いをもとめ」の項目を設定しており、児童の問いから学習が始まる工夫があります。児童が自ら学びたいと感じる動機付けとなっており、児童が自分から進んで学習していきたいくなる工夫がされています。

○有山委員

確かに、主体的な学びという意味では、この児童の問いから学習が始まるという工夫は、光村の特徴であり、子供たちが自分たちから積極的に学ぶ意欲を持つことができるのではないのでしょうか。

○中澤委員

子供たちにとって、楽しく、かつ主体的に学習に取り組むことができるというのはとても良いことですね。自ら学びたいという気持ちを持って学習を進めていける教科書は有効に活用できるのではないかと思います。

○高須教育長

他に御意見はございますか。

○秋元委員

寝屋川市で現在取り組んでいるディベート教育などで必要な論理的な思考の育成という観点では、各社ともに目的や条件に応じて自分の考えをまとめ、伝え、話し合うという活動が取り入れられていました。

○藤田教育長職務代理者

東書では、6年生で「話し合って考えを深めよう」の単元で立場を明確にして話し

合うという活動が取り入れられており、光村では、6年生で「聞いて考えを深めよう」の単元で知りたいことを明らかにし、相手の考えを引き出し、インタビューを通して考えたことをグループで伝え合う活動が取り扱われており、多様な学習活動が効果的に行われるように工夫されていました。

○中澤委員

教出でも、5年生にミニディベートという単元があり、立場を明確にして話し合うという活動が設定されておりました。保護者の立場からすると、このような学習を積み重ねることで、物事をさまざまな立場から見るができるようになるのではないかと思います。

○高須教育長

教科横断的な他教科とのつながりや日常生活へのつながりという観点においてはいかがでしょうか。

○有山委員

東書では、6年生で、「インターネットの投稿を読み比べよう」の単元で、SNSの投稿の読み比べなど身近なテーマで自分の意見をまとめる活動などがあり、身近な環境教育なども掲載されており、児童にとっては取組みやすいのではないかと感じました。

○秋元委員

確かに身近なテーマが載っているのはわかりやすいと思います。教出では、各学年で学ぶことのまとめの部分に各単元における対応したSDGsのテーマを記載するなど環境に配慮することや日常生活につなげていく工夫がみられたので教科横断的な指導がしやすく、学びが広がっていくように思いました。

○藤田教育長職務代理人

系統的な指導ということだと思いますと、各社ともに工夫があり、学び方や既習事項についてのまとめがわかりやすくなっています。具体的にお示ししたいのですが、よろしいでしょうか。

○高須教育長

結構です。事務局準備をお願いします。

○藤田教育長職務代理人

それでは、東書は6年生の6ページ、教出は6年生の4ページ、光村は6年生の10ページを示していただけますでしょうか。

○高須教育長

藤田教育長職務代理人、続けてお願いします。

○藤田教育長職務代理人

東書は、言葉の力という形でその学年で学ぶ言葉が巻頭に全てまとめられています。次のページには単元全体を貫く学習の方法についてもまとめられています。児童が自分で全体を見通すことができるのは、とても良いことだと思います。

また、教出に関しても、その学年で学ぶことを領域ごとに色分けをしてわかりやすくまとめています。各領域において学ぶことが明確になっており、こちらもわかりやすいと思います。

光村に関しては、どうやって学んでいくかの学び方がまとまっています。その次のページにその学年で学ぶことが領域ごとに色分けしてまとめられています。

○中澤委員

東書では、巻末に各領域における既習事項との関係がまとまっていました。このようなまとめがあると既習事項をイメージして確認しながら学習を進めることができるので良いと思います。

○有山委員

光村でも、12ページにある巻頭の下段に既習事項がまとめられており、その領域における既習事項をすぐに確認することができるようになっています。さらに、各単元の最初のページにおいて「5年生の教科書の何ページで学んだことなのか」も記載されていて、非常に丁寧です。この構成は、経験の浅い先生にとっては、前の学年での学びを確認しながら指導できるので、指導の積み上げがしやすくなるのではないかと思います。

○藤田教育長職務代理者

国語科は、螺旋的で反復的な学習を通じて、言葉の力を定着させていく教科ですので、光村のように巻頭ブックインブックで、繰り返し、すぐに既習事項が確認できるというのは学習を進める上で、非常に有効ではないかと感じました。

○高須教育長

それでは、続けて御意見いただけますでしょうか。

発達段階への考慮に関しては、いかがでしょうか。

○秋元委員

各社ともに言葉の特徴や使い方などについて日常生活に必要な国語の特質を理解し適切に使うことができるように、適切な内容が取りあげられており、教出では、全体的に情報が精選されており、名作も豊富であるように感じました。

○藤田教育長職務代理者

各社ともに低学年から文章の書き方や発言の仕方などを扱っており丁寧な作りになっています。要約などについても各社みていきますと東書は、3年生から要点をメモに取り、文章の順序を示す活動が取り入れられています。一方、光村では、2年生から順序や要点をメモに取る単元があり、もう一度4年生でも要点をメモに取り発表するという活動があり、低学年から非常に丁寧に扱われています。

○有山委員

文章を要約するという点では、教出は4年生で200字程度の要約があり、要約についてのポイントも詳しく説明がされており、丁寧でした。

○秋元委員

私は、光村がよいと思います。先ほど、有山委員がおっしゃっていた、児童の問
いから学習が始まるのが主体的な学びの本質だと思いますし、内容もとても丁寧だ
と感じます

○藤田教育長職務代理者

学習指導要領にもある通り、国語科の指導内容は、系統的・段階的に上の学年に
つながっていくとともに、繰り返しながら学習し、資質・能力の定着を図ることを
基本としています。既習事項を確認できるという点では、東書もいいのですが、巻
頭ブックインブックで学びの順序がはっきりと示されており、既習事項をすぐに確
認できるというのは、子供たちにとってもわかりやすく、教員にとっても指導の積
み重ねがしやすいので光村が良いのではないかと思います

○有山委員

主体的・対話的で深い学びを進めていく上で、基礎・基本の指導は重要と感しま
すので、教出も丁寧で良いのですが、光村の方が、より適しているのではないかと
感じます。

○中澤委員

私も児童が学びやすいという点で光村が適当ではないかと思います。いかがでし
ょうか。

○高須教育長

それでは、みなさん光村という意見のようですので、国語の教科書は光村を採択す
るということで、御異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

○高須教育長

御異議なしと認めます。よって国語は、光村に決定します。

種目「書写」について、協議してまいりたいと思います。現行は光村を使用してい
ます。発行者は3社です。御意見がありましたらお願いいたします。

○藤田教育長職務代理者

各社とも各学年で、大切な点がわかりやすく明示されており、適切な指導内容が取
り上げられております。

また、どの教科書も毛筆の学習から硬筆へつながるように工夫され、児童が進んで
学習できるように工夫がどれも素晴らしい内容でした。

選定委員会からの答申、調査員の報告などでも示されておりますが、例えば、東書
では、書写のねらいとなる「正しく整った文字を書く」ために必要な知識・技能を
「書写のかぎ」でポイントが整理されております。教出では、学習の始めに硬筆で
「ためし書き」、終わりに「まとめ書き」する活動が設定されており、「生かそう」
毛筆で学習したことを硬筆にいかして書けるように取り扱われています。光村の教科
書では「考えよう」導入、「確かめよう」理解、確認、「生かそう」活用、「ふり返
ろう」振り返りという展開がひと目で分かるような内容になっています。

○高須教育長

藤田教育長職務代理者からは、目標や内容について、示されましたが、人権尊重の観点や、文章、写真、挿絵、図、資料などは、各社どうですか。

○秋元委員

各社とも、全ての児童にとって使いやすく分かりやすいように、フォントや文字の大きさ、レイアウトや図の配色、教材の児童名、キャラクター、写真などの男女比等に配慮されており、人権への配慮について、適切になされています。教出と光村では、これからの子供たちに、考えて貰いたいSDGsの取組が取り上げられていました。

○有山委員

東書は、鉛筆や筆の左手の持ち方が写真で大きく明示されております。光村は、えんぴつの持ち方や用具の準備の仕方において、二次元コードによる動画で右利きと左利きの両方が示されており、視覚的にとらえやすいように配慮されていました。

○高須教育長

次に、発達段階への考慮はいかがでしょうか。

○藤田教育長職務代理者

各社とも、他教科の学習との関連や手紙、原稿用紙など、日常生活と関連させ、書写の知識・技能を習得できるように工夫されています。様々な「筆記具」の写真と「筆記具」を用いて書いた線や文字を掲載し、各目的に合った筆記具を選ぶように考えさせること等が、写真やイラスト、デジタルコンテンツなどで取りあげられていました。二次元コードのコンテンツ数は光村が一番多く掲載されています。

○中澤委員

各社とも、「しょしゃたいそう」やリズムカルな評語を用いて、体を動かしながら学べるようになっていきます。姿勢や筆記具の持ち方を正しくし、点画の書き方や文字の形に注意しながら、筆順に従って丁寧に書くことが意識されています。

○高須教育長

各学年の目標や内容を踏まえての、教科等横断的な視点はいかがでしょう。

○藤田教育長職務代理者

東書では、「生活に広げよう」「学びに生かそう」のページで他教科と関連させた学習活動が示され語彙指導の充実を図るように配慮されていました。教出では、「レッツ・トライ」「書いて伝え合おう」等で、手紙やはがきの書き方を収録し、書いて伝え合う楽しさを実感できる題材と場面を設定し、他教科と関連させています。光村では、「書写広げたい」「もっと知りたい」等で示され、他教科と連動した教材が、設定されており、学びが日常に広がる工夫がされていました。

○高須教育長

各社のページの構成はどうなっていますか。

○有山委員

東書と光村は毛筆の教材では、見開き左のページには手本が示され、右のページに

は学習の流れにそってポイントが配置されています。右のページを下敷きの下にもぐらせることで、お手本を左横におきながら、毛筆の練習ができます。教出は右ページには手本が示され、左ページには学習の流れが示されています。

○中澤委員

学習した内容を確実に習得できるよう、学習の内容や過程などを振り返ったり、学んだことを生活に生かしたりすることができるような補充的な学習や発展につながる資料についてですが、どの教科書も身の回りの文字や世界の文字に目を向けさせ、実生活における文字への興味をもつように工夫されていました。また、どの教科書にも行書が紹介されており、中学校への学習の興味づけが感じられます。

○高須教育長

その他、子供が学習しやすいように配慮されていることがあれば、意見をお願いします。

○秋元委員

各社とも、「平仮名」「片仮名」「ローマ字」「漢字」一覧があり、学習した内容を振り返ることができるようになっています。また、東書では、「文字といっしょに」、教出では「知りたい文字の世界」、光村では書写学習・毛筆学習の基本をまとめた「スタートブック」「SDGsブック」「書写ブック」など、様々な観点から文字文化を取り上げた資料やコラムが児童の興味関心を引くように掲載されています。

○高須教育長

そろそろ結論を出したいと思いますが、御意見お願いいたします。

○藤田教育長職務代理人

各社とも、様々な工夫がされていましたが、正しい姿勢で執筆することや、SDGsブックやスタートブック等の資料等が特に充実されているという点で、光村が適当ではないかと思います。

○秋元委員

私も光村が良いと思います。

○高須教育長

光村が良いという意見が出ておりますが、他にございませんか。

○有山委員

各社、良いと思いますが、二次元コードのコンテンツ数が多く、資料も充実している光村がより適していると思います。

○高須教育長

それでは、書写の教科書は光村を採択したいと思います。御異議ございませんか。
(「異議なし」の声あり)

○高須教育長

それでは、書写は光村に決定いたします。

次に、種目「社会」について、協議してまいりたいと思います。現行は日文を使用し

ております。発行者は3社です。御意見がありましたら、お願いいたします。

○中澤委員

各社とも、目標や内容の取扱いについては、各単元の目標に沿った学習問題をつくり、調べ、まとめることを通して、児童が社会生活について理解し、情報を調べ、まとめる技能が身に付けられるようになっております。

また、社会科の中で重要な見方・考え方の視点についても、各社が工夫をこらし、多角的に考えたり、公正に判断する内容となっています。

○藤田教育長職務代理者

各社とも、キャラクターや言葉で見方・考え方の視点を分かりやすく示しており、「時間」や「空間」、「関係」など学習を進めるなかでの目のつけどころが示されていて、分かりやすいと感じました。

○高須教育長

人権の取扱いについてはいかがですか。

○秋元委員

日文では、「障害者差別解消法」などが取り上げられているとともに、SNSやインターネット上で人権がおかされた問題が取り上げられており、このところ課題となっているSNS等の問題に触れられており、分かりやすいと感じました。

○有山委員

各社ともに、自治体の取組やパラリンピック選手へのサポートなど取りあげる切り口に沿って、基本的人権などの学習が進められています。教出では、パラリンピック選手へのサポートを中心に、障害者差別解消法について取り上げています。

○高須教育長

発達段階への考慮については、いかがでしょうか。

○藤田教育長職務代理者

各社とも、文章は、児童の発達段階に応じた字の大きさ、文の量、わかりやすい表現で記述されています。

また、写真、挿絵、図、表などの資料について、児童の発達段階を考慮した内容となっております。

○秋元委員

各社とも、本文中のキーワードや重要語句は太字等で目立たせるとともに、欄外で語句の説明がされています。

○高須教育長

組織・配列については、いかがでしょうか。

○中澤委員

東書では、「つかむ」「調べる」「まとめる」「いかす」の単元構成を基本とし、それぞれの学習段階のめあてが明示されております。

○有山委員

教出は、各学年の扉ページに、前の学年で「学んだこと」「できるようになったこと」「学び方」についての振り返りがまとめられており、学習を進めやすい工夫がされています。

また、資料の中には、「この時間の問い」や「次につなげよう」で、1時間の授業で何を学習し、次の時間にどのようにつなげるかを分かりやすく示されていますね。

○秋元委員

日文は、各学年の扉ページに、「〇年生の社会科が始まります!」というその学年で学習する内容がまとめられており、これから学習を始めるサポートが丁寧にされています。また、学習問題を解決した後で生まれた疑問を「さらに考えたい問題」として提示されており、学習後の自主学習を進めやすい工夫がされていると感じました。

○高須教育長

次に、学び方の工夫については、いかがでしょうか。

御意見よろしくお願ひいたします。

○有山委員

東書では「まなび方コーナー」で、教出は、「学びのてびき」で、日文は、「学び方・調べ方コーナー」で学習の技能や方法が示されており、各社とも、1時間の授業が「調べる」時間なのか、「表現する」時間なのかが明確に示されており、学習しやすい工夫がこらされています。

○高須教育長

補充的な学習・発展的な学習についてはいかがでしょうか。

○藤田教育長職務代理者

各社とも、単元末で学習問題等を再掲し、学びを振り返ることができるよう配慮されているとともに、様々な学習場面において活用できるデジタルコンテンツが用意されています。

○秋元委員

日文では、二次元コードが多く、デジタルコンテンツが充実していました。SDGsに関わる学びが充実しているように感じました。

○高須教育長

では、そろそろまとめていきたいと思います。

3社、それぞれに良いところがありますが、みなさん、いかがでしょうか。

○藤田教育長職務代理者

SDGsやデジタルコンテンツの充実さなど、時代に即した工夫がされている、日文がいいと思います。

○中澤委員

東書や教出においても、社会科の見方・考え方を働かせながら学ぶ内容ですが、日文では社会科の見方・考え方をより分かりやすく示されており、日文がいいと思います。

○秋元委員

各社とも二次元コードへのリンクなど工夫がなされていますが、二次元コードのリンクの充実さなどでは、日文がより充実しており、よいと感じました。

○有山委員

東書や教出においても基本的人権など取り上げられていますが、日文では現在課題となっているSNSやインターネット上での人権に触れており、より時代に即したものであると感じます。

○高須教育長

日文を推薦する意見が出ましたが、社会科の教科書は日文を採択するという一方で、御異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

○高須教育長

御異議なしと認めます。よって社会は、日本文教出版を採択することに決めます。次に、種目「地図」について、協議してまいりたいと思います。

現行は帝国を使用しており、発行者は2社です。地図帳は、社会科で教科書とともに活用する場面が多くあり、この視点から見ていく必要があります。

委員のみなさん、御意見をお願いします。

○秋元委員

両社とも、日本全図、日本地域図、世界全図、世界大陸図が取り扱われており、資料が分かりやすく取り上げられています。

また、二次元コードから、アニメーションなどによる解説で学習することができます。

○有山委員

両社ともに、文字や図の配置等配慮されていますし、イラストや写真が多く、児童にとってわかりやすく興味をもつものだと思います。特に、東書は、世界地図のページで動物や料理の写真が掲載されていて、イメージもわかりやすく国際理解につながると感じました。

○藤田教育長職務代理者

学校の所見でも書かれていましたが、山脈の多い地方のページを見ると、帝国は高低差が視覚的に捉えられる配色となっており、立体的で、子供たちも目で見てパッと分かりやすく感じました。

○中澤委員

二次元コードを見ると、両社ともクイズや資料が多く掲載されており、楽しみながら学習できると思いました。帝国は、都道府県別に白地図があり、地形や土地利用、農水産物など、8つの項目の地図が収録されていて、調べ学習に活用しやすいと思いました。

○藤田教育長職務代理者

地図帳は3年生から使用しますが、どちらも地図帳の使用について丁寧に説明するページがありました。帝国は、3年生用に「広く見わたす地図」のページが設けられており、学年に合わせて使い分けができるよう工夫されています。

○秋元委員

3年生から地図に親しむというところで、具体的にお示ししたいのですが、よろしいでしょうか。

○高須教育長

事務局、準備をお願いします。

○秋元委員

それでは、東書の29・30ページ、帝国の45・46ページをお願いします。

○高須教育長

秋元委員、続けてお願いします。

○秋元委員

3年生で地図帳をもらったときに、子供たちが真っ先に探すのは、「寝屋川」だと思います。近畿地方の地図を見比べてみると、帝国には「寝屋川」が記載されていますので、より親しみがもてるのではないのでしょうか。

○中澤委員

確かに、自分の地域が近畿地方のどの位置にあるかわかるので良いですね。

○高須教育長

他に御意見ございますか。

○有山委員

学年に合わせた学習という面では、6年生の社会科で活用できる日本の歴史年表のページを見比べると、東書は同時代の世界地図を掲載し、日本の歴史を学びながら世界との関わりが学べるように取り扱われています。大きな流れを理解していると中学校の学習にもつながるのではと思いました。

○秋元委員

日本の自然災害について、両社とも取り上げられているのですが、東書では、ハザードマップが紹介されており、自分の地域のハザードマップも見て確認しておこう、となっています。帝国では、防災マップづくりとして、グループ学習につなげ、より深く学べるようになっていました。

○高須教育長

いろいろな御意見がありましたが、そろそろまとめていきたいと思います。

○藤田教育長職務代理人

両社とも、発達段階に応じたさまざまな工夫が取り入れられ、子供たちにとって分かりやすく興味をもつものとなっているのではと思いますが、発展的な学習も考えると、帝国が適しているのではないかと思います。

○有山委員

東書も、キャラクターのコメントなど子供たちの興味関心を高める工夫をされていましたが、やはり地図上に「寝屋川」が記載されているということは、子供たちにとって重要だと思いますし地図・資料の豊富さからも帝国が適していると思います。

○高須教育長

帝国がよいという御意見が多いようですが、地図帳は帝国を採択するということが、御異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

○高須教育長

御異議なしと認めます。よって地図帳は、帝国書院を採択することに決めます。

次に、種目「算数」について、協議してまいりたいと思います。現行は啓林館を使用しております。発行者は6社です。

それでは、各委員の皆さんより御意見をお願いいたします。

○藤田教育長職務代理者

各社とも、確かな知識及び技能を習得するため、基礎的・基本的な内容の習得を重視しつつ、その背景にある概念や性質についての理解を深めることが出来るよう、適切な課題が設定されておりました。また、学習したことを生活の中でいかすことができるよう取り扱われ、SDGsと絡めた問題が取り上げられるなど、教科横断的な学びを意識した内容となっており、甲乙つけがたい印象でした。

○有山委員

確かに各社とも、SDGsや生活場面と関連した問題を扱い、日常生活や社会の事象を数学化した課題が多く設定されていました。特に、東書、大日本、教出、啓林館では学習したことが日常生活に繋がる場面について取り上げているコーナーが多数用意されていました。また、学図では、SDGsを扱っている項数が6社の中でもっとも多かったことが印象的でした。

○中澤委員

そうですね。学図と啓林館は、他教科に関連した内容から課題を設定している箇所も多く、教科横断的な学習をより多く取り入れた構成になっていました。構成と配列の観点でいうと、啓林館では、三角形の面積の求め方から扱うことで、他の図形の面積を求める際に三角形を利用しやすくなるよう配列されていることが印象的でした。

○秋元委員

発達段階への考慮については、各社とも、写真、挿絵、図、表などの資料が発達段階を考慮したものになっており、具体的な体験を伴う学習活動が行われるよう配慮されていました。また、東書、大日本、啓林館、日文では、1年生において薄い分冊版を作り、算数の勉強に入りやすいよう工夫していると感じました。学図では、6年生において分冊版を作り、数学の勉強につなぐよう工夫していました。

○中澤委員

各社とも、様々な発達段階への考慮について工夫されていますね。人権の取扱いについても写真や挿絵で多様性が尊重されるよう配慮されています。また、ユニバーサルデザインの観点から、フォントや配置、色、図などが工夫され、すべての児童にとって扱いやすいように配慮されており、明確な差はありませんでした。

○秋元委員

目次も、各社工夫されています。

東書や大日本、学図に関しては、そのあとで学習する関連単元を掲載しています。見通しをもって学習に取り組む効果として、とても有効なのではないかと感じました。

○高須教育長

個別最適な学びに関してはいかがでしょうか。

○藤田教育長職務代理者

各社とも、個別最適な学びや協働的な学びについて、それぞれの学びを一体的に充実させるような課題と学び方が設定されています。特に東書は、吹き出し等の問いかけを考えることで、「めあて」に向かうことができる箇所がもっとも多く設定されており、様々なところで悩む学習者に対して、個にあった丁寧な学習が出来ると考えられます。

○中澤委員

1人1台端末に伴い各社とも、デジタルコンテンツでは、学習に役立つ情報を得る事ができ、練習問題を行う事が出来ようになっており、個別最適な学びにとっても有効ではないかと思われます。

○高須教育長

そろそろ何社かに絞りたいと思いますが、御意見を伺っていると、東書、学図、啓林館が多いように思うので、その3社に絞って、話を進めていきますが、よろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○高須教育長

それでは、続けて御意見ををお願いします。

○有山委員

まず始めに東書からお話いたします。

東書は、単元末や巻末に「たしかめよう」や「つないでいこう算数の目」「ほじゅうのもんだい」「おもしろ問題にチャレンジ」「ふりかえりコーナー」などが設けられ、学習の振り返りを深めることができるよう配慮されていました。

次に、学図は、「できるようになったこと」「まなびをいかそう」「算数パトロール隊」「ふかめよう」などが設けられ、学習を振り返り、深めることができるよう配慮されていました。

最後に、啓林館は、個別最適な学びや協働的な学びについて、それぞれの学びを

一体的に充実させるような課題と学び方が設定されています。

○秋元委員

啓林館は、各業界で活躍している方のインタビューが掲載されていて、算数がどのような形で各職業に生かされているのかわかりやすく掲載されていました。生涯にわたって学び続ける力を育むことにつながっていくのではないかと感じました。

○中澤委員

個人的には、啓林館が扱っている問題ですが、各学年の児童にとって難易度が少し高いのではないかと思います、いかがでしょうか。

○藤田教育長職務代理者

難易度が多少高い学習内容を扱うことで、児童の知的好奇心を高めるとともに、児童同士が教えあう際に相手が理解しやすいよう内容を理解し筋道を立てて教えなければならぬ等、クラス全員が協働して学習を深めることができるという良さがあります。

こうした問題に日々取り組むことによって、数学的活動の楽しさや数学の良さに気付くことができるのではないのでしょうか。

○秋元委員

学校所見でも、概ね評価は高かったように思います。活用力の育成をより重視している点で啓林館が適当だと思います。

○高須教育長

今までの意見からしますと、啓林館が適しているという声が多いようですので、算数の教科書は啓林館を採択するというところで、御異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

○高須教育長

御異議なしと認めます。よって算数は、啓林館を採択することに決めます。

次に、種目「理科」について、協議してまいりたいと思います。現行は、啓林館を使用しております。発行者は5社でございます。

御意見はございますか。

○有山委員

答申を読む中で、発行者5社ともにそれぞれ細部までこだわって工夫されていることが分かりました。

○中澤委員

私もそのように感じました。目標・内容の取扱いについても、各社とも巻頭にそれぞれ理科を学習するうえで大切なポイントや学び方を示していて、取り扱われている教材も適切であり、観察や実験を通して問題解決の力が身につくよう配慮されていると思います。

特に、大日本は、巻頭に読み物マンガを採用し児童の興味関心を引き、学図は、実験や観察などを扱っている箇所がほかの教科書会社より多かったのが印象的でした。

○高須教育長

他に御意見はございませんか。

○秋元委員

課題を把握し問題解決に至るまでのプロセスを、児童が一つずつ確認しながら進められるよう各単元が構成されています。

例えば、啓林館では、単元構成が「見つける」「調べる」「まとめる」の3段階を進め方の基本としています。教出では「問題を見つける」「考えをつくる」「考えをたしかめる」「わかったことを表す」の4段階を進め方の基本としています。

○有山委員

今、秋元委員がおっしゃった問題解決までのプロセスは、各社ともに、マークや矢印などで流れや項目が示されており、児童が今何をすべきなのかが意識しやすくなっていると思います。

○高須教育長

他に御意見はございませんか。

○藤田教育長職務代理人

各社とも、プログラミング学習を積極的に取り入れようと工夫をしていると思います。特に、東書では全学年の巻末に「理科とプログラミング」というページを設けているのが印象的でした。

○中澤委員

ここまで話を伺う中で、どの教科書会社も優れているところがたくさんありました。その中でも、啓林館、東書は、調査員からも好感が得られていたように思います。

○高須教育長

啓林館、東書の2社で話を進めていく方向でよろしいですか。

(「異議なし」の声あり)

○高須教育長

それでは、この2社で話を進めますが、先ほどの内容も踏まえながら、ほかに意見をお願いします。

○藤田教育長職務代理人

両社とも、各単元において、適切な内容の実験が設けられており、子供たちが主体的に問題を見つけ、解決に向けて活動できるように工夫されていました。

○中澤委員

私もそう思います。だからこそ、児童の実験中の安全の確保については必須だと思います。両社とも、様々な注意点や、危険が生じる可能性のある場面については、赤字で注意を促すよう配慮されています。

特に啓林館では、児童が実験を行う際に「やけど」や「保護眼鏡」マークを記載していて、何に気をつけなければならないかが一目瞭然です。

○高須教育長

なるほど。そのほか、両社の特徴について、御意見はありますでしょうか。

○有山委員

両社ともに巻末の付録や二次元コードによる学習の補助が充実していると思います。

○藤田教育長職務代理者

それでいうと、啓林館の巻末「WaCBTワクビット」では、ICT機器を通じて、これまでに学習した内容を振り返ることができることは、とても便利だと思います。

○秋元委員

ICT機器の活用でいうと、東書も5年生の雲と天気の様子単元で、観察しづらい雲の動きを「シチュエーション」という見出しの二次元コードを読み取ることでいつでも学べるできるようになっています。

○有山委員

ICT機器を学習で使いこなすことは確かに大事です。

○高須教育長

様々な意見が出てまいりましたが、そろそろ結論を出したいと思います。

○中澤委員

両社ともに、現代の教育のニーズに沿って、工夫されていたと思いますが、安全に実験・観察ができるための配慮や、ICT機器で学習したとことを振り返るという点から、私は啓林館が適当ではないかと思います。

○有山委員

そうですね。東書もたくさんの良さが見受けられましたが、みなさんとの話を進めていくうえで、啓林館がより良いように感じました。

○高須教育長

啓林館を推す意見がありましたが、理科の教科書は啓林館を採択することで、御異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

○高須教育長

御異議なしと認めます。よって理科は、啓林館を採択することに決めます。

それでは、続きまして、種目「生活」について、協議してまいりたいと思います。

現行は啓林館を使用しております。発行者は7社でございます。

各委員のみなさんより、御意見がありましたら、お願いいたします。

○藤田教育長職務代理者

答申・調査員の報告書等を拝見したところ、「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」の記載があるなど、東書、教出、啓林館の3社の評価が高かったように思います。

私は、この3社を中心に検討をしてはどうかと思うのですが、皆さんいかがでし

ようか。

○有山委員

私もその3社で検討していくことで賛成いたします。

各社とも、活動や体験で得た気づきを伝え合う場面が設定されており、協同的な学びが充実するよう工夫されています。

教出では、単元冒頭に「わくわくすいっち」が掲載されており、啓林館では、町探検で信号の音を例示し、感覚を働かせて探検できるようになっています。

○高須教育長

では、東書、教出、啓林館の3社を中心に、検討を進めていくことで、よろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○高須教育長

では、東書、教出、啓林館の3社で検討を進めてまいります。3社について御意見をお願いいたします。

○中澤委員

各社とも、学習指導要領の内容が適切に取り上げられており、生活科の目標を達成させるものとなっております。

○有山委員

東書では、本文に「主な評価基準例のマーク」が示されており、生活上必要な技能が身に付けられるよう配慮されていますね。

○高須教育長

人権の取扱いについてはいかがですか。御意見ををお願いします。

○藤田教育長職務代理者

各社とも、人権尊重の観点から、文章、写真、挿絵、図、資料などが適切に取り扱われており、幼児や高齢者、障がいのある人、外国の人など、多様な人々と関わる活動場面が随所に見られました。

○高須教育長

先ほど文章や写真、挿絵などについての発言がありましたが、文章の記述量や写真、挿絵などの資料についての、発達段階への考慮については、いかがでしょうか。

○有山委員

各社とも、文字の分量や表記方法、資料についても、児童の発達段階を考慮した内容になっていると思います。

○秋元委員

東書では、ページの幅を変えて植物の写真が掲載されており、成長の過程がわかりやすいですね。

○藤田教育長職務代理者

教出や啓林館でも、写真や挿絵などが効果的に活用されていて、児童の興味・関

心を引くように工夫されています。

○高須教育長

生活科においては、学習指導要領で各学年の目標や内容を踏まえたスタートカリキュラムや教科横断的な視点が重視されておりますが、この点についてはいかがでしょうか。

○有山委員

各社とも、大きな写真やイラストなどを掲載し、子供たちにとって、活動がイメージしやすくなるように構成がされています。

○藤田教育長職務代理者

啓林館では、単元構成が、「わくわく」「いきいき」「ぐんぐん」の3段階で構成されており、導入・活動・ふりかえりを意識して、学ぶことができるように構成されていると思います。

○高須教育長

では、そろそろまとめていきたいと思います。みなさん、いかがでしょうか。

○藤田教育長職務代理者

児童の興味・関心を引く豊富な資料が掲載され、かつ、わかりやすいページ構成となっている啓林館が良いと思います。

○有山委員

啓林館が、児童の興味・関心を引く工夫がされていて良いと思います。

○秋元委員

単元の構成においても工夫がされている啓林館が良いと思います。

○高須教育長

啓林館を推薦する意見が出ましたが、生活の教科書は啓林館を採択するということで、御異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

○高須教育長

御異議なしと認めます。よって生活は、啓林館を採択することに決めます。

次に、種目「音楽」について、協議してまいりたいと思います。発行者は2社です。

現行は教芸を使用しております。御意見はございますか。

○藤田教育長職務代理者

まず、表紙についてですが、両社とも、学年に応じた楽器や和楽器も登場し、音楽の楽しさが伝わるよう工夫がされていました。

教芸は、登場するキャラクターが目や肌の色から多様性が感じられ人権に意識された仕上がりになっておりました。

○有山委員

低学年では身体表現を取り入れながら、音楽に親しめる内容になっており、どの子も楽しく体を動かしながら音楽を学ぶことができると思いました。

また巻頭にある「学習マップ」では、単元で取り扱われる内容について視覚的に分かりやすくまとめられていました。

教出では、3年生以上で「学習の進め方」を記載しており、大切なポイントが簡条書きで示されています。

教芸では「歌う」「きく」「つくる」「演奏する」として技能ごとにまとめており、見通しをもって1年間学習ができるよう工夫されていました。

○中澤委員

両社とも選曲、歌詞、文章、写真等は、人権に配慮されたものであり、教出では、諸外国の音楽については、祭りなどの行事と関連付けて取り上げられており、音楽の楽しさが伝わると感じました。

一方、教芸では友だちとのふれ合いや自然や動植物を愛護する歌詞を取りあげるなど、道徳との関連性も配慮されている内容でした。

○高須教育長

なるほど、では、学習指導要領のポイントとして生活や社会の中での音や音楽と豊かにかかわる資質・能力を育成することがあげられていますが、その点で御意見をお願いします。

○秋元委員

どちらの教科書も、社会との関わりについて、SDGsとの関連を意識した教材を取り上げていました。

教出は見開き1ページを使い、心を繋ぐ音楽についてSDGsの目標とともにストリートピアノを紹介し、教芸は、阪神淡路大震災と東日本大震災を取り上げ、音楽のもっている力や役割について考えさせる内容になっていました。

他にも、両社とも音楽づくりと関連させ著作物の利用の仕方にふれられるよう著作権について取り上げており、特に、教芸では、見開き1ページの特集が組まれていました。

また、全学年の裏表紙には、日本各地の有名な芸能がコラムにて紹介されており、伝統芸能に親しむための工夫がなされていました。

○有山委員

どちらの教科書も言葉や演奏で表現し、さらに、個から集団への学びへ広がっていくよう、言語活動が充実するよう工夫されていました。

音楽的な見方・考え方の学習活動を進めるヒントとして、教出では、3年生以上では「まなびナビ」を発展させた「学び合う音楽」のコーナーを設定し、学びのゴールイメージをもちながら学習できるよう工夫されています。

一方、教芸では、キャラクターのセリフによって適宜ヒントが示され、キャラクターとともに学んでいるイメージを持ちやすく、そこから集団の学びへと繋げていけると感じました。

○藤田教育長職務代理者

教科横断的な視点で見ますと、どちらの教科書も英語の歌を取り上げていました。さまざまな国の音楽に親しむ工夫がされており、国際理解につながっていました。どちらの教科書も、日本の伝統的な歌が引き継げるようになっていましたが、教芸が、教出より数多く載っていました。

少し話が変わりますが、5年生の教科書をもってきていただけますか。

○高須教育長

事務局、お願いします。

○藤田教育長職務代理者

教出は20ページを、教芸は38ページをお願いします。

教出を見ていただくと、「学習のねらい」の重要な言葉がフォントの配色を変えて示され、大事なところに気づきやすいようになっています。題材ごとにメモ欄が、右上に設けられており、子供たちが聴き取ったことや感じ取ったことを書き込めるようになっています。

一方、教芸は、「学習のねらい」が同じフォント・色で統一され、シンプルで見やすくなっていました。

また、各社ともに二次元コードから、学習に役立つ音楽や資料などのコンテンツを閲覧できるよう工夫されておりまして、この音楽づくりの単元においても、教出では、ワークシートが端末上で表示され、子供たちだけでなく先生たちにとっても、参考になると思いました。

○高須教育長

そろそろまとめに入りたいと思います。

○秋元委員

今までの話し合いの中で、両社とも、さまざまな工夫が取り入れられているという意見であったように思いますが、学習の見通しをもちつつ、音楽的な見方・考え方を働かせて学習活動を進めていけるという点で、教芸が適しているのではないかと思います。

○有山委員

社会と音楽との関わりといった意味で、豊富に例示され、児童にとって分かりやすい教芸の方が適切かと考えます。

○高須教育長

それでは、結論を出したいと思います。

総合的に教芸が良いという意見が多かったので、音楽の教科書は教芸を採択するという点で、御異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

○高須教育長

御異議なしと認めます。よって音楽は、教育芸術社を採択することに決めます。

次に、種目「図画工作」について、協議してまいりたいと思います。現行では開

隆堂を使用しており、発行者は2社です。

何か御意見はございますか。

○藤田教育長職務代理者

両社とも、発達段階に応じた身近な材料を題材に取りあげ、思いやイメージを広げ、創造的につくったり表したりすることができる内容が取りあげられていると思いました。また、コミュニケーションや言語活動を重視した題材、共同で行うことを意図した題材が多く設定されていると思いました。

○有山委員

両社とも、フォントや色使い、写真など、全ての児童が支障なく学べるよう配慮されていますし、発達段階を踏まえた題材が構成されており、活動の内容と育成すべき資質・能力のバランスが良いと思いました。

○中澤委員

どちらも、すべての児童にとって使いやすくわかりやすいように、ユニバーサルデザインフォントを使用し、文字の大きさは学年に応じて変えられ、よく配慮されていると思いました。

特に、開隆堂では図版に番号が付されていて、外国籍をふくめた様々な児童にとって分かりやすいよう、配慮されていると思いました。

○秋元委員

両社とも児童の安全へも配慮があります。

開隆堂は「安全」マークを、日文は「気をつけよう」マークを用いて、児童が安全に活動できるよう注意を促しています。

○有山委員

開隆堂は「学びの資料」、日文は「使ってみよう材料と用具」というページがあり、写真やイラストなどを使いながら分かりやすく材料や用具の使い方を示しています。

○高須教育長

それでは、組織や配列についてはどうですか。御意見をお願いします。

○中澤委員

日文は、他教科等と関わりのある題材について、「つながる学び」マークが示されていて、教科横断的な学びが広がるように工夫されていました。

開隆堂も、他教科との関連がある内容には、「あわせて学ぼう」というマークとあわせて説明が書かれており、教科横断的な学習への手立てとなるように配慮されるとともに、とても分かりやすく工夫されていると思いました。

○有山委員

教科横断的な学習として、学校生活や社会とのつながりという部分でも両社とも工夫がみられます。開隆堂では、「つながる造形」「みんなのギャラリー」等で、美術館・町・地域での造形活動やアーティストとの交流などが掲載されています。

日文では、「つながる図工」「広がる図工」等で、生活の中の造形物や美術館、地域とのつながりなどが掲載されています。

どちらも工夫されていますが、特に開隆堂では学校生活の具体的な場面が分かりやすく示されていて、児童の主体的な学びやキャリア教育につながっていきそうだと思います。

○高須教育長

両社とも、それぞれの工夫が随所に見られますが、学び方の工夫についてはいかがですか。

○藤田教育長職務代理者

両社ともA4版で、写真やイラストが大型で、見やすく掲載されています。

開隆堂は、キャラクターを用いて、各題材のめあてを示していて、とても分かりやすいと思います。児童が学習のポイントを理解し、見通しをもって学べるよう工夫されていると思いました。

日文でも、マークを用いてめあてが示されており、こちらも工夫されていると思います。

○高須教育長

二次元コードについてはどうですか。

○秋元委員

両社とも二次元コードで道具の使い方の動画をはじめ、作品例、ワークシートなど、様々なコンテンツが用意されており、1人1台端末を活用しながら学びが深まるよう工夫されていると思います。

○高須教育長

そろそろまとめに入りたいと思います。

○藤田教育長職務代理者

今までのお話を聞いていて、日文も良いのですが、めあてが分かりやすく示されていて、児童の主体的な学びを支援していると思うので、開隆堂を推薦したいと思います。

○有山委員

確かに、めあてがどのように示されているかで、児童の学習への向かい方が変わってきますね。キャラクターも使いながら分かりやすく示されている開隆堂は良いですね。私も、開隆堂を推薦します。

○中澤委員

私も、全体的に児童が主体的に学べるように工夫されていると感じたので、開隆堂を推薦します。

○秋元委員

私も開隆堂を推薦します。

○高須教育長

みなさん、開隆堂という御意見でしたので、図画工作の教科書は開隆堂を採択するというので、御異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

○高須教育長

御異議なしと認めます。よって図画工作は、開隆堂を採択することに決めます。

それでは、種目「英語」について、協議してまいりたいと思います。発行者は、6社です。現行は東書を使用しております。

御意見がありましたら、お願いいたします。

○秋元委員

寝屋川市では、小学校1年生から国際コミュニケーション科」として英語に慣れ親しみ、普段学習していることが通じた喜びや成長を実感できる場として、英語村学習等も行っています。

そのため、これまでの「国際コミュニケーション科」の取組につながる教科書を選定すべきと考えます。

○藤田教育長職務代理者

各社とも、音声で英語に慣れ親しんだ後、実際にコミュニケーションを行う構成となっており、目的や場面、状況などに応じて、自分の考えや気持ちなどを伝え合う内容が取りあげられています。

○高須教育長

ほかに、御意見はございませんか。

○有山委員

今回も、各社とも、二次元コードを添付し、児童が家庭でも音声を聞いて、予習・復習をすることができるよう、工夫されていたり、ユニバーサルデザインフォントを使用したりするなど、全ての児童にとっての使いやすさを意識して作られているように感じました。

○秋元委員

東書や啓林館はライティングの量が多いように感じます。

話す・聞く活動に力点を置いています。書く活動も大切なので、小学校段階から英語を書くことに慣れていくことができると思います。

○高須教育長

ほかに、御意見はございませんか。

○藤田教育長職務代理者

教科書の大きさにも、各社、特徴があると感じました。

東書、開隆堂、三省堂、啓林館はA4判で、紙面にも余裕があるため、使いやすい印象を受けます。

また、4線（よんせん）の幅にも各社違いがあり、特に、東書と光村は、ベースラインの上が少し幅を広くとられているので、書くときの負担が少なくなり、バラ

ンスよく書けるのではないかと感じます。

○中澤委員

私もそれは感じました。4線の幅については、現行の教科書でも、広めにとられて
いますので、児童にとっては、なじみがあるのではないのでしょうか。

○秋元委員

教出は、読む活動において、低学年の道徳や国語の教材から引用されています。
児童が内容を想像しながら読むことができるため、理解しやすいのではないかと思
います。

○有山委員

6社のうち、東書、開隆堂、三省堂、光村、啓林館では、「CAN-DO（キャンド
ゥ）リスト」の形で、5つの領域別に児童がどのような力をつけるのかが明確に示
されており、とても分かりやすかったです。

○教育長

これまでの議論の中では、東書、光村、啓林館が特徴的であったという御意見が
多かったように思います。3社に絞って検討してはどうですか。

○藤田教育長職務代理者

私もそのように感じています。

○高須教育長

それでは、東書と光村、啓林館に絞って検討していきたいと思います。他教科と
の関連についてはいかがでしょうか。

○秋元委員

3社とも他教科と関連した内容が取り扱われていますが、特に東書では、全単元
にわたって他教科との関連が示されており、児童が他教科での学びをいかしながら
英語に触れることができると感じました。

○中澤委員

私もその点については、東書が一番多く取り扱っていると感じました。

確かに、英語を学習するにあたって、他教科での学びを通して知っている内容で
あれば、児童への負担も少なくなり、学習へのモチベーションが高まりそうですね。

○高須教育長

デジタル教科書についての視点はいかがですか。

○秋元委員

3社とも音声の速度を調整できるようになっており、それに加えて、光村は、チ
ャンツへのハイライト機能が備えられています。

啓林館は、暗記したい語彙を隠す機能が備えられています。

○藤田教育長職務代理者

その点でいうと、東書は、思考ツールを選択してワークシートを作成する機能や、
必要な項目のみを切り取って音声を流すことができる機能が備えられており、児童

もとても使いやすいように感じました。

○高須教育長

では、そろそろまとめていきたいと思います。

みなさん、いかがでしょうか。

○有山委員

3社ともそれぞれに工夫があり、魅力的な部分が多いのですが、私が一番特徴的だと感じたのは、東書のデジタル教科書で、思考ツールを選択してワークシートを作成できることです。

子供たち自身がアウトプットに向けてそれぞれで準備できるよう工夫されており、個別最適な学習に繋がる点がとても魅力的です。

○秋元委員

私も、東書は寝屋川の子供たちにも合っていると感じます。イラストや写真のレイアウト等の見やすさもありますが、特に他教科と関連した内容が多く扱われていることも、これまでの寝屋川市の「国際コミュニケーション科」の授業づくりとの共通点があり、進めやすいのではないのでしょうか。

東書と光村は、児童が文字を書く際のこととも考えると、4線の幅等も含め、取り組みやすいと思います。

○高須教育長

東書という御意見が多いようですが、英語の教科書は東書を採択するというところで、御異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

○高須教育長

御異議なしと認めます。よって英語は、東京書籍を採択することに決めます。

次に、種目「家庭」について、協議してまいりたいと思います。現行は、東書を使用しております。発行者は2社です。

御意見をお願いします。

○藤田教育長職務代理者

両社とも、発達段階に応じた内容が取り上げられており、実習を繰り返し行いながら、日常生活に必要な基礎的な知識・技能の習得を図るよう配慮されています。

東書でも開隆堂でも3ステップで展開し、学び方が示されています。

各題材とも「学習のめあて」ではじまり、単元の最後には「ふり返ろう・生かそう」で家庭での実践につなげられるようになっています。

○秋元委員

両社とも、幼児や高齢者など様々な世代の人や、多様なバックグラウンドの人々が登場することで、共生の視点に気づくことができるよう配慮されています。

また、安全に実習を進めるため、特設ページを設けるなどの配慮がされるとともに、「安全」マークで注意点が示されるなど、事故防止に留意するよう配慮されて

います。

○中澤委員

両社とも、作品例、挿絵、図表などが豊富で、児童の発達段階に配慮されています。

○藤田教育長職務代理者

東書の「主題」では「実、みそを入れる順序」について、どのような物から入れるのか理由を示し、写真とともに時系列で横並びに提示し、とても見やすく理解しやすいようになっています。

○有山委員

両社とも専門用語や学習に興味がわく内容が取り扱われ、発展学習につながるようになっています。

○秋元委員

特に開隆堂は「豆知識」として毎ページ掲載されており、情報量もたくさんあります。

○高須教育長

他教科とのつながりについてはどうですか。

○中澤委員

両社とも他教科・他学年の学習内容と関連させて学習できるように「関連」マークで示しています。

その他、家庭科に関係のある英単語を日本語訳とともに脚注に示されています。

○高須教育長

両社の学び方の工夫についてはどうですか。

○藤田教育長職務代理者

両社とも、各題材において、「調べよう」「考えよう」「話し合おう」等の表記で学習課題が設定されていて、児童が主体的に実践的・体験的な活動を行うことができるように工夫されています。

東書では、「生活を変えるチャンス」、開隆堂では「生活の課題と実せん」が設けられ、学習で身につけたことを生活にいかすことができるようになっています。

○有山委員

両社とも、各題材の最後や、学年末にふりかえりを記入するページを設定することで、自分の学びを振り返り、自分の成長を実感し、より家庭での実践につながるよう配慮されています。

○秋元委員

両社とも、日本の伝統やキャリアについてのコラムでは、実際に話した方の顔やインタビュー等も掲載されています。

それによって学習した内容の理解を更に深めたり、仕事や生活への興味を高めたりできるよう工夫されていると思います。

○中澤委員

そうですね。東書ではさらに二次元コードを読み込むことでインタビュー動画も見ることができ、その効果はより高いのではないかと思います。

○高須教育長

そろそろまとめてまいりたいと思います。

○藤田教育長職務代理者

今までの話し合いの中で、両社とも、さまざまな工夫が取り入れられているという意見であったように思いますが、視覚的にイメージしやすい図表や写真など豊富に例示され様々な発達段階の児童がイメージをもちながら学習を進めていくことができるという点で、東書が適しているのではないかと思います。

○有山委員

基礎基本の定着という意味でもイメージしやすいというのは大切なことです。

○秋元委員

私も、東書がいいと思います。

○高須教育長

それでは、結論を出したいと思います。

総合的に東書が良いという意見が多かったので、家庭の教科書は東書を採用するという点で、御異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

○高須教育長

御異議なしと認めます。よって家庭は、東京書籍を採用することに決めます。

次に、種目「保健」について、協議してまいりたいと思います。

現行では東書を使用しております。発行者については、全部で6社となります。

御意見をお願いいたします。

○藤田教育長職務代理者

保健については、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現する観点から、各社とも、「けんこうな生活」「体の発育・発達」「心の健康」「けがの防止」及び「病気の予防」に関する内容を取り扱っています。

○秋元委員

東書では、各単元に「4ステップ」の学習活動が設定されていて、見通しをもって知識・技能を習得できる工夫がされていると思いました。

○有山委員

大修館では、各単元に大きく3つのステップで学習活動が設定されていて、非常に分かりやすいですね。

○中澤委員

文教では、章末に「わたしの〇〇宣言」として、今後どう実践していきたいか書

き込むことで、知識・技能を習得できる内容が取りあげられていますね。

○藤田教育長職務代理者

光文では、身の回りの生活の危険に関する内容が多く記載されていて、深い学びにつながりそうです。

○秋元委員

学研では、書き込み欄を多く設けていて、使いやすい点から、健康の見方・考え方を働かせることにつながりそうです。

○中澤委員

大日本では、「もっと知りたい！」の場面において、ジェンダーや性の多様性について、取りあげられています。

○有山委員

発達段階への配慮については、各社とも、文章はわかりやすく、簡潔な記述で、分量とともに児童の発達段階を考慮した内容になっていますね。各社とも、丁寧に扱っていると感じました。

○高須教育長

ありがとうございます。

もう少し、特徴的な点をあげていただけますか。

○秋元委員

東書では、他教科や他学年とのつながりを促す箇所が多く設置されています。教科等横断的な視点も含めると、とてもよい印象を受けました。

○有山委員

大修館では、他学年や他教科等のほか、運動領域とのつながりが示されています。とても効果的な指導が行われるよう工夫されていました。

○高須教育長

なるほど、では、東書と大修館の評価が、他に比べて高かったように思いますが、この2社に絞って検討してはいかがでしょうか。

○中澤委員

私もその2社で良いと思います。

○高須教育長

それでは、東書と大修館の2社について、検討を進めていきたいと思います。

○秋元委員

東書は、二次元コードの記載数がとても多いです。

これは、一人一台端末を用いて主体的な学びが進みそうです。

○有山委員

大修館は、学習に関連する「まめちしき」等が掲載されていて、役立つ知識等が紹介されています。

○高須教育長

では、そろそろまとめていきたいと思います。

みなさん、いかがでしょうか。

○中澤委員

東書では、プロ車いすプレイヤーの小学生の頃のエピソードが取りあげられていて、子供の興味をより一層引き出す工夫がされています。この点からも東書が良いと思います。

○藤田教育長職務代理者

私も東書が良いと思います。学習の進め方が分かりやすいです。

○高須教育長

それでは、保健の教科書は東書を採択するというところで、御異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

○高須教育長

御異議なしと認めます。よって保健は、東京書籍を採択することに決めます。

それでは、種目「特別の教科 道徳」について、協議してまいりたいと思います。

現行では、光村を使用しており、発行者は6社です。

御意見がありましたら、お願いいたします。

○藤田育長職務代理者

本市では、道徳教育を重点研究の中に位置づけており、「指導と評価の一体化を意識した道徳科の授業づくり」について研究を進めております。

目標・内容の取扱いにおいては、教出、光村、光文では教材の冒頭に主題や問いかけが示されており、児童にとって、教材と向き合うヒントとなったり、何を学ぶのが明確になったりと、児童自身の主体的な学びにつながるように感じます。

○中澤委員

多様な考えを引き出すという点では、東書は多様な考えを阻害しかねない記述を削除し、子供の考えを誘導しない表現がなされているという印象がありました。

○有山委員

道徳科の目標に関わる内容で言えば、学研は「いのち」「多様性」「キャリア」の3つのテーマのユニットに分け、それぞれ複数教材を用いて、多面的・多角的に考えを深められる工夫がされていました。

○秋元委員

教材の末尾では、各社ともに教材の終わり方を工夫することにより、登場人物の悩みや葛藤、心の揺れなどに対する児童の多様な意見を引き出し、議論が活発になるように設定されています。

設問例を通して、教材での学びを自分の生活とつなげて考えられるような工夫があり良いと思います。

○藤田教育長職務代理者

教材などの組織・配列という点では、各社ともに教材が4つの視点で、バランス

よく組織・配列されています。

その中でも、東書や日文では、「安全」、教出、光村、学研では「命」、光文では、「持続可能な発展」などが発達段階を考慮して取り扱われています。特に、学研では、「いのち」を最重点テーマとして、「生命の尊さ」の教材を全学年で3本ずつ用意しています。

○高須教育長

いじめ問題や他者理解、人権尊重については、取り扱い方に違いがありますか。

○中澤委員

人権の取扱いについても、各社ともに様々な教材を通して人権尊重について認識を深めるとともに、人間としての在り方や生き方について考えを深められるように配慮されています。

○秋元委員

国際理解、福祉、障がい、いじめについては各社とも取り上げており、多様な考え方を認め合える配慮がされています。教出、光村、日文では、それに加えて、世界人権宣言も取り扱っています。

○高須教育長

発達段階への考慮について御意見をお願いいたします。

○有山委員

各社、発達段階や特性を考慮し、指導のねらいに即した内容となっています。

例えば、児童の生活場面を描いた教材や動物が主人公になっている物語、偉人などの人物の生き方の教材などを通して、自己の生き方について考えられるように配慮されています。

○秋元委員

東書、教出、光村、日文、学研では、役割演技などの体験的な学習を取り入れた教材を配置することで、『主体的・対話的で深い学び』の実現に近づける工夫があります。

○藤田教育長職務代理者

秋元委員に付け加えて、体験的な学習を取り入れたページを設け、各学年で多様な学習が展開できるように工夫があります。

○中澤委員

光村では、その中でも、役割演技の手順を丁寧に示しながら、様々な角度から自分の考えを伝え、相手の考えを受け止めることができるよう工夫されています。

○有山委員

『主体的・対話的で深い学び』という点では、光村、日文、光文が、道徳の学習を始めるにあたって、巻頭にオリエンテーションのページを設けています。子供たちが道徳の学習に見通しを持って、取り組むことができる工夫がなされています。

また、光村においては、道徳を学ぶ目的と学習活動を示したページもあります。

○中澤委員

オリエンテーションや学習活動が示されていることで、道徳の学習の流れを学校全体で確認でき、経験年数の少ない教員には、良い機会となりそうですね。

○高須教育長

次に、学習したことをふりかえることや学習したことをいかすといった点で御意見を頂戴したいと思います。

○藤田教育長職務代理者

日文では、教科書とは別に、別冊の道徳ノートが用意されています。別冊には、思考をより深めるために友達の意見や図、絵をかく枠が設けられています。

○秋元委員

ふりかえりという点では、東書、光村、日文では、教材ごとにふりかえるページが設けられています。

また、各社、学期ごとや年間を通じて、ふりかえるページを設け、これからの課題や目標を見つけたりすることができるよう工夫されています。

○高須教育長

そのほかにも特徴的なものはありますか。

○有山委員

各社とも二次元コードにより資料を掲載するなど、個別最適な学びを充実させるための工夫がされていました。東書、光村、日文では、朗読音声収録されており、読むことが苦手な児童にとっても教材の内容が分かるような配慮がされていると感じました。教出では、二次元コードの「学びリンク」が用意され、児童の理解を深めたり、学び合いの意欲を高めたり、家庭学習では、主体性を養えるような工夫がありそうです。

○秋元委員

どの発行社もそれぞれ良いところがありますが、選定委員会からの答申では、教出・光村・学研の評価が高かったように思います。

○藤田教育長職務代理者

みなさんのお話を伺っていると、私も教出・光村・学研の評価が高いように感じます。

○高須教育長

今、出ているのは、教出、光村、学研の3社ですが、この3社に絞って議論していく形はいかがでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○高須教育長

それでは、絞った3社について、御意見を伺います。

○中澤委員

教出では、各教材末に学習をふりかえる「学びチェック」欄が設けられています。
学研では、巻末のページに一年の成長をふりかえり、今年度の学びを次年度につなげるページがあります。

○有山委員

光村では、1～4年生において、「たくさん考えた」「友達の考えをよく聞いた」「もっと〇〇したい」の観点でふりかえり、シールを貼って、学びを記録することができます。低学年においては、シールを活用することで楽しみながらふりかえりを行うことができると考えます。また、ふりかえりの観点が示されることで、児童はふりかえりのポイントが明確になると考えます。

○高須教育長

ほかに御意見ございますか。

○秋元委員

オリエンテーションや学習の見通しという点では、先ほど、中澤委員や有山委員からも挙げられていたように、光村が分かりやすくまとめられていると感じます。

○中澤委員

付け加えて、光村のオリエンテーションページ「道徳が始まるよ」では、学習指導要領の内容項目をとびらになぞらえ、子供たちにもわかりやすく言葉とイラストで示し、児童が見通しをもって学習できるように工夫されています。

○有山委員

私も光村は、学習活動を示す部分が設けられ、児童・教師にとっても学習の流れを確認することができます。各学年にこのページは設けられているため、6年間を通じて学習の流れが変わらないということは、児童にとって安心できると考えます。

○中澤委員

確かに、私もそういった視点は重要だと思います。

○秋元委員

一定、指導の質がそろうことも期待できますね。

○高須教育長

ここまでの話をまとめると、光村の教科書が、より適しているように感じますが、いかがでしょうか。

○有山委員

私も光村が良いと思います。

○中澤委員

私も光村が寝屋川の子供たちに適していると思います。

○藤田教育長職務代理者

私も光村の教科書が寝屋川市の教育に適していると思います。

○高須教育長

委員のみなさん全員、光村との御意見のようです。

それでは、道徳の教科書は光村を採択するという事で、御異議ございませんか。
(「異議なし」の声あり)

○高須教育長

御異議なしと認めます。よって道徳は、光村図書を採択することに決めます。

以上、各種目が決定しました。

では、各種目の教科書を確認します。

国語は光村図書。書写は光村図書、社会は日本文教出版、地図は帝国書院、算数は啓林館、理科は啓林館、生活は啓林館、音楽は教育芸術社、図工は開隆堂、英語は東京書籍、家庭は東京書籍、保健は東京書籍、道徳は光村図書に決定しました。

以上をもちまして、議案第30号、「令和6年度使用小学校教科用図書の採択について」の審議を終了いたします。

ほかに報告はございませんか。

では、ないようですので、これをもちまして教育委員会臨時会を終了いたします。